

国家資格「登録日本語教員」をめざそう！

熊本学園大学日本語教員養成課程

熊本学園大学では、2009年度より「日本語教員養成課程」を設置し、国内外のさまざまな学習者に対応できる基礎的な知識と能力を身につけた日本語教員の養成をめざすだけでなく、国際交流機関や企業においても異文化コミュニケーション能力を発揮できる人材の育成をめざしています。これまでの修了生は国内外の日本語教育機関等で活躍しています。

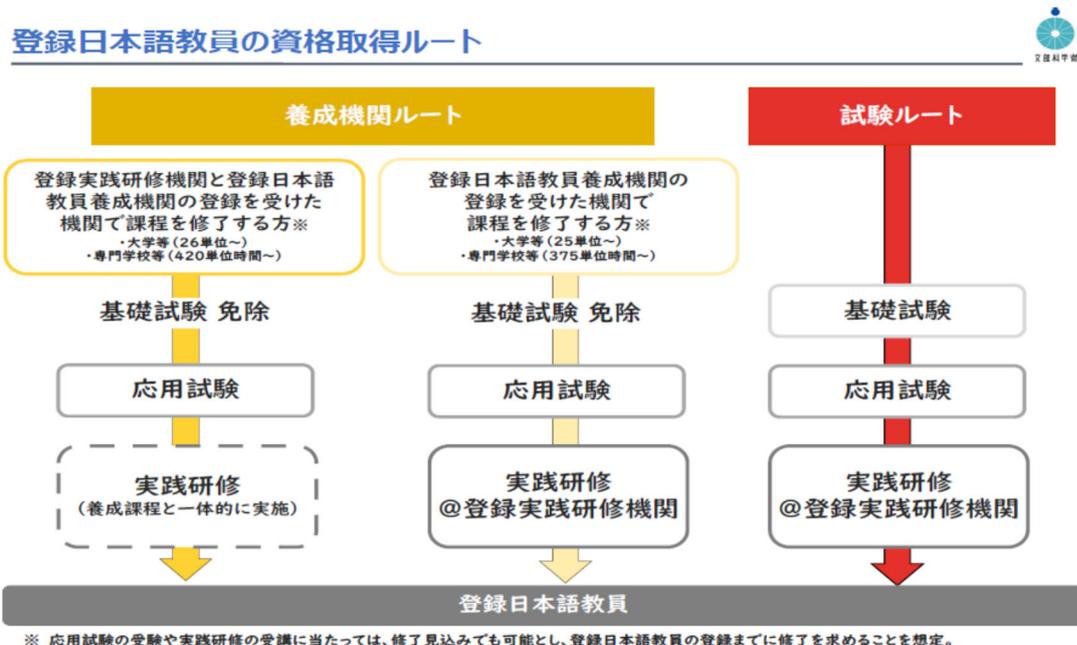
日本語教員の国家資格化

2024年4月に「登録日本語教員」という新しい国家資格ができ、今後は文部科学省から認定を受けた「認定日本語教育機関」で日本語を教えるには、「登録日本語教員」という国家資格が必要となりました。2025年10月31日、本学は「登録日本語教員」を養成するための「登録日本語教員養成機関・登録実践研修機関」として熊本県内の大学で初めて登録されました。新カリキュラムは2026年4月よりスタートします。本学の「日本語教員養成課程」は全学部の学生が履修可能です。

登録日本語教員の資格取得ルート

本学の「日本語教員養成課程」を修了すると、養成機関ルートのうち、「実践研修」を養成課程と一体的に実施するルート（図1の左端のルート）となり、国家試験「日本語教員試験」の基礎試験が免除され、応用試験に合格すれば、「登録日本語教員」の資格が取得できます。また、これまでの本学「日本語教員養成課程」修了生や現在の履修生も同様です。

【図1 登録日本語教員の資格取得ルート】



(図1：文部科学省 HP より)

キャリア・プランとしての日本語教員

これまで本学の「日本語教員養成課程」修了生は、中国の大学や高校をはじめ、シンガポール、台湾、ベトナムなどの語学学校や、熊本県内や福岡・東京の専門学校などに日本語教師として就職しているほか、国際交流基金日本語パートナーズとしてアジアの小中学校などで活躍しています。また、現在小中学校で急増する外国にルーツを持つ子どもの教育や、外国企業の企業内研修など、熊本県内でも日本語教員の需要は高まっています。日本語教員という国家資格を自身のキャリアに加えることで、卒業後のキャリア選択の幅も確実に広がることが期待されます。